

# 熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画の実施状況について

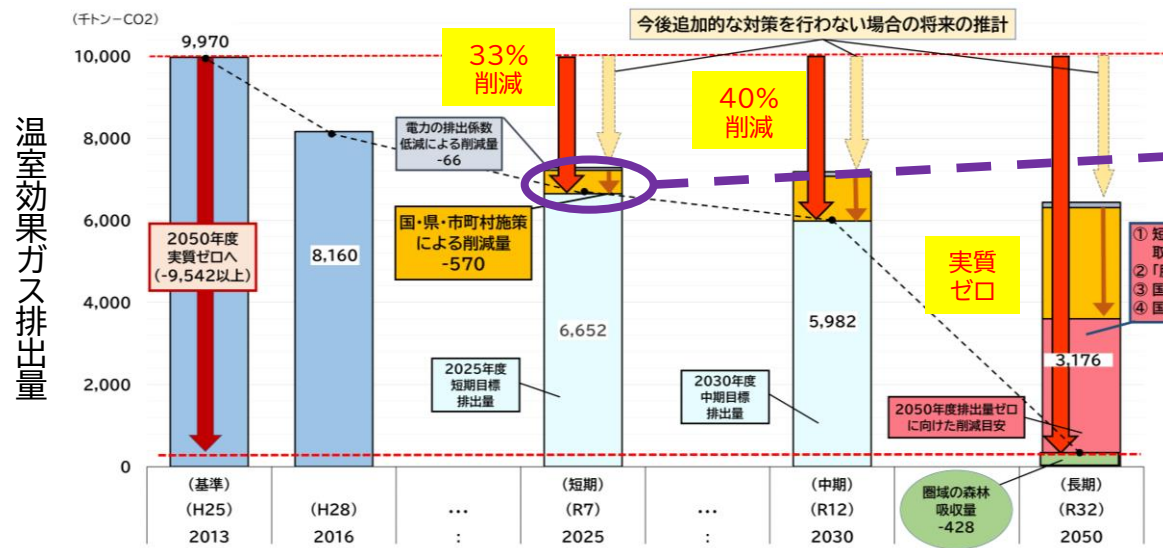
## 1 実行計画の概要

- ・対象: 住民・事業者含む行政区域全体
- ・範囲: 熊本連携中枢都市圏18市町村(山鹿市を除く)
- ・期間: 2021~2025年
- ・目標: 温室効果ガスの削減目標

基準年度(2013年度)	9,970千t-CO <sub>2</sub>
①短期目標(2025年度):33%以上削減	6,652千t-CO <sub>2</sub>
②中期目標(2030年度):40%以上削減	5,982千t-CO <sub>2</sub>
③長期目標(2050年度):排出量実質ゼロ	428千t-CO <sub>2</sub>

### ◆2025年度目標の考え方

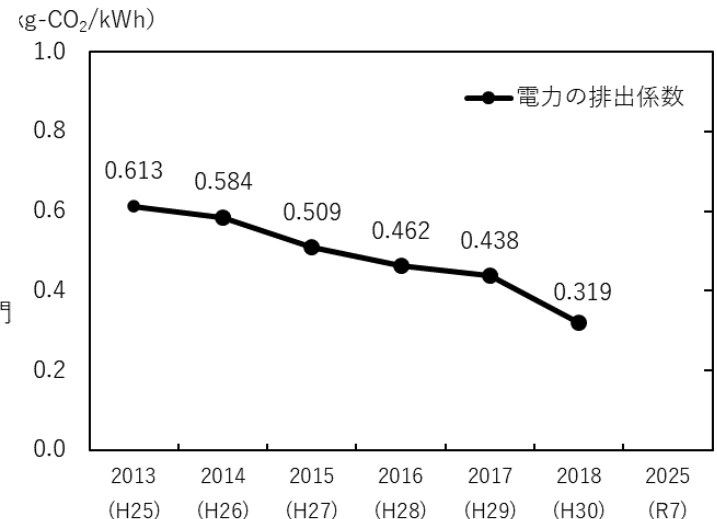
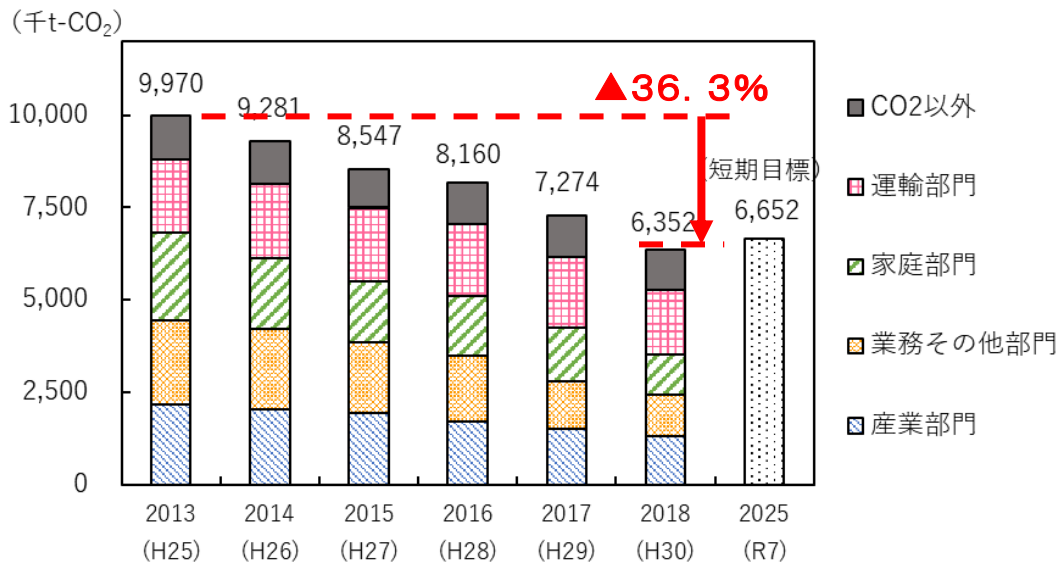
内訳	温室効果ガス削減量(千t-CO <sub>2</sub> )
18市町村の施策による削減	128
国・自治体の施策の波及効果による削減	442
合計	570



連携中枢都市圏の施策により、2025年までに128千t-CO<sub>2</sub>の削減を目指す

## 2 温室効果ガス排出状況（都市圏全体）

- 2018年度の温室効果ガス排出量は、6,352千t-CO<sub>2</sub>で基準年度比36.3%減少で、実行計画の短期(2025年度)目標の33%削減を達成。
- 減少要因は、再エネ普及等による電力の排出係数の低減や省エネの推進等。
- 2030・2050年の目標に向け、引き続き省エネや再エネ普及を促進するとともに、削減率が少ない運輸部門の取組の強化が必要。



都市圏における温室効果ガス排出量と電力の排出係数の推移

※電力の排出係数:1kWhの電気を供給するために、どのくらいのCO<sub>2</sub>を排出しているかを示す指標。(電源構成や再エネ普及状況により変化する。)

### 3 アクションプランの実施状況（R3年度の熊本市の主な実績）

#### <基本方針1> 再生可能エネルギーの利用促進と災害への対応

（市民の取組促進）

○太陽光発電設備・蓄電池の導入補助（太陽光発電設備:150件、蓄電池:150件）[環境局]

（市役所の取組）

○【重点】市有施設における太陽光発電設備の拡充  
（83⇒84箇所(R3:託麻西小）[環境局・施設所管局]

○【重点】市有施設における大型蓄電池の拡充  
（2⇒4か所(R3:アクアドーム、必由館高校）[環境局]



#### <基本方針2> 省エネルギーの推進とエネルギーの効率的な利用

（市民・事業者の取組促進）

○省エネ住宅の導入補助（ZEH:60件、エネファーム:75件、高断熱窓改修:33件、省エネ家電420件）[環境局]

○省エネルギー住宅の普及促進（低炭素建築物:74件、CASBEE熊本:21件）[都市建設局]

○事業者向け省エネ設備導入補助（LED、エアコン、冷蔵庫等:21件）[環境局]

（市役所の取組）

○【重点】市有施設等のLED化（学校・消防施設等）[環境局・施設所管局]

○【重点】水道施設の省エネ設備の導入 [上下水道局]

○【重点】エコオフィス活動・環境マネジメントシステムの実践 [全局区]



## <基本方針3> 脱炭素に向けた都市機能と資源循環社会の構築

(脱炭素型モビリティ社会の実現)

- 市民・事業者へのエコカー導入補助(100件) [環境局]
- バス網再編・パーク&ライド等による公共交通機関への転換 [都市建設局]

(廃棄物の適正処理と資源循環) [環境局]

- プラスチック製容器包装の分別収集・リサイクル
- ワンウェイプラスチック削減・バイオプラスチック等利用促進
- 食品ロス削減(フードドライブ、食べ残しゼロ協力店)



## <基本方針4> 豊かな自然環境の保全と住民の生活の質の向上

(地下水保全) [環境局]

- 【重点】節水市民運動の展開
- 【重点】水源かん養林整備事業(65ha)

(森づくりの推進)

- 【重点】森林経営管理推進 [農水局]



## <基本方針5> 環境意識の向上と環境投資の推進

- 【重点】テレビ、ラジオ、ニュースレター等による「COOL CHOICE (温暖化対策に資する賢い選択)」運動の広報 [環境局]
- 【重点】地球温暖化対策シンポジウムの開催(183名参加) [環境局]
- 【重点】地球温暖化対策の周知パネルの各市町村での展示 [環境局]
- 出前講座・学校版環境ISOによる環境教育 [環境局・教育委員会]



## 4 施策による温室効果ガス削減量

○2021年度の施策による温室効果ガス削減量は44,507 t-CO<sub>2</sub>で、2025年度の削減目標の128,000 t-CO<sub>2</sub>の約1/3となった。

基本方針		温室効果ガス削減量 (t-CO <sub>2</sub> )		
		熊本連携中枢都市圏		2025年度 目標目安(内訳)
		熊本市		
基本方針1	再エネの利用促進	15,177	16,697	43,000
基本方針2	省エネの推進	17,874	12,187	21,000
基本方針3	都市機能・資源循環	81	4,772	20,000
基本方針4	自然環境保全	(※)-1,092	(※)-1,950	7,000
基本方針5	環境意識の向上	11,593	12,801	37,000
合計		43,633	44,507	128,000

※生活用水使用量の増加や森林経営活動を実施した場合の国の吸収係数の見直しにより、増加したものの。

## 5 今後の方針

### <熊本連携中枢都市圏>

- 連絡会議を通して進捗管理を行うとともに、各市町村の取組の拡大を推進する。
- 市町村有施設の脱炭素化に向け、環境省の地域脱炭素事業への応募の準備を進める。

### <熊本市>

- 脱炭素の取組は地域の成長戦略につながることを踏まえ、各分野において脱炭素化の視点を入れた事業等を行う。